

広報

にしあいづ

9

2022

No.767



もくじ Contents

P2 特集1 令和4年8月豪雨 奥川地区を中心に大きな被害

P4 特集2 令和4年度 二十歳を祝う会

P6 まちの話題

中高生が異国文化体験、古川利意記念美術館「農とくらし」がオープン!、
こゆりこども園でスイカ割り ほか

令和4年8月豪雨

奥川地区を中心に大きな被害

8月3日から5日にかけて北日本を中心に発生した豪雨は、本町に大きな被害をもたらしました。特に奥川地区では、道路の決壊をはじめ、住宅への浸水、田畑の冠水や集落の孤立、断水など多くの被害が発生しました。

記録的な豪雨

県内では、前線に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定になり、8月3日の夕方から会津北部を中心に雷を伴った非常に激しい雨が降りました。その後も断続的に雨が降り、翌4日午前5時28分に「福島県記録的短時間大雨情報」が発表されました。

町内では、同4日の明け方に1時間に約100ミリの猛烈な雨を記録し、奥川・中町自治区にある国土交通省の雨量観測局では、降り始めからの雨量が295ミに達しました。

交通機関への影響

交通機関への影響も多数発生し、国道49号の上野尻―宝川区間が雨量超過のため一時通行止めとなったほか、県道や町道においても、土砂崩れや路肩の崩落などにより一時的に通行不可になりました。

JR磐越西線においては、喜多方市の濁川橋りょうの一部が河川の増水により倒壊し、8月4日から野沢駅―喜多方駅間が運休となっていました。なお、10日からは同区間でバスによる代行輸送が実施されています。

また、町民バスも、安全な運行を確保するために、道路状況に応じて迂回運行を実施するなど、町民の皆さんの生活に大きな影響が出ました。

災害対応

町では、8月3日午後2時10分に大雨警報が発表されたのと同時に警戒配備体制を設置して警戒にあたりました。その後は、翌4日午前7時に災害対策本部を設置し、警察や消防など関係機関と連携しながら、町内の被害状況の把握を実施しました。

また、簡易水道の破損により断水などが発生した奥川地区の12自治区189世帯には、4日と5日に飲料水を配給したほか、一部には給水タンクを設置しました。

同じく5日の昼頃には、県消防防災ヘリコプターにより、道路が流されて孤立してしまった弥生自治区の住民の救助と弥平四郎自治区への食料などの物資輸送を行いました。なお、道路の応急復旧により弥平四郎自治区の孤立は5日の夕方に解消しました。

今後は、被災した土木施設や農地・農業施設の復旧、町罹災救助金の交付など継続した対応を行っていきます。

町内の被害状況

※国・県管理分を除く。

◆建物被害

【8月9日現在】

住宅全壊	1棟
住宅半壊	1棟
住宅床上浸水	1棟
住宅床下浸水	14棟
小屋などの浸水	8棟

◆道路被害

【8月15日現在】

町道（路肩決壊など）	21カ所
林道（土砂崩れなど）	12カ所

◆河川等被害

【8月15日現在】

流木詰まり、洗堀など	10カ所
------------	------

◆農地被害

【8月8日現在】

冠水・土砂堆積面積	7.5畝
法面などの崩落・浸食	20カ所

1. 大量の土砂が流入して全壊した家屋（弥生地内）
2. 奥川の増水により水衝部の護岸が流失（極入地内）
3. 泥や流木などが打ち上げられた水田（塩地内）
4. 奥川の増水により道路や田畑が冠水（向原地内）
5. 路盤が流されてしまった県道383号熱塩加納山都西会津線（極入一弥平四郎間）
6. 道路の一部が崩落した県道383号熱塩加納山都西会津線を視察する関係者（小屋地内）

※掲載した写真は8月4日から8日にかけて撮影したものです。

大人への第一歩を踏み出す

令和4年度 ^{はたち}二十歳を祝う会



謝辞(上田昌範さん)

二十歳になった今、変化し続ける社会環境に合わせて、一人一人が自覚を持って行動していきたいと思えます。そして、今日ここにこうして集えたことに感謝し、これからのそれぞれの人生をしっかりと歩んでいくことを誓います。



記念証授与(佐藤理央さん)



記念品贈呈(五十嵐杏優さん)



令和4年度西会津町二十歳を祝う会が8月15日に西会津中学校多目的ホールで挙行されました。
今年4月1日より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、町では対象者へアンケート調査を実施しました。その結果、これまでと同様に20歳を迎える皆さんを対象とした式典を開催することとし、名称も「成人式」から「二十歳を祝う会」に変更しました。

久々の再会を喜び合う

令和4年度に20歳を迎えたのは、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた48人の皆さんで、この日は38人(オンライン参加1人を含む)が参加しました。

式では、薄町長が佐藤理央さんに記念証を、五十嵐杏優さんに記念品を贈呈し、「自分らしさをしっかり持つて、人のために何かをできる素敵な大人になってください。皆さんの人生が輝かしい未来であふれることを心から願っています」とあいさつしました。続いて清野佐一町議会議長が祝辞を述べ、20歳を迎えた皆さんの新たな人生の門出を祝福しました。

式の後には、実行委員会主催のレクリエーションが行われ、指名を受けた皆さんが自身の近況報告や将来の夢についてスピーチを行い、会場は盛り上がりました。また、小学校時代の恩師からのビデオメッセージが上映され、映し出された懐かしい顔に時折歓声が上がると、20歳を迎えた皆さんへ当時を振り返りながら祝福の言葉と温かいエールが送られました。

二十歳を祝う会 出席者

〔名簿より、敬称略〕

〔野沢地区〕

▽2町内Ⅱ山内奈菜、若林出、渡部美優▽3町内Ⅱ海老名里奈▽5町内Ⅱ高橋脩▽9町内2Ⅱ須藤珠▽下小屋Ⅱ物江綾香▽10町内Ⅱ飯嶋彩香、福地優理奈▽芝草Ⅱ佐久間大地、佐藤奈々、黒澤怜花、上田昌範

〔尾野本地区〕

▽西原Ⅱ二瓶拓磨▽森野Ⅱ渡部

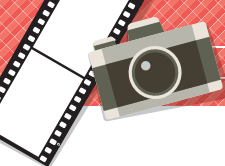
部猶雅、齋藤陽香、荒明ありさ▽萱本Ⅱ泰聖志朗▽松尾Ⅱ野原安一、須藤諒▽尾登Ⅱ齋藤陽奈▽西林Ⅱ福井樹▽さゆりが丘Ⅱ五十嵐杏優、江川満里愛、高橋新史、長谷川歩夢、長谷川光、田中千博▽上小島Ⅱ佐藤理央、薄上明日香、渡部壮流

〔群岡地区〕

▽上野尻Ⅱ齋藤優輝、土田愛唯▽下野尻Ⅱ塚原大翔、伊藤美乃鈴▽宝川Ⅱ渡部璃空

〔新郷地区〕

▽高目Ⅱ長谷沼大秀▽滝坂Ⅱ五十嵐史彦



夏の風物詩！上手に割れたかな？

こゆりこども園でスイカ割り

夏のこゆりこども園では、この時期ならではの遊びである「スイカ割り」や「プール遊び」などで、夏を満喫しています。

8月2日にひまわり組（年長）の園児たちが行った「スイカ割り」では、目隠しをした園児が他の園児や先生に応援されながら、スイカに向かって勢よく棒を振り下ろしていました。最終的にスイカにはヒビが入り、大盛り上がりでスイカ割りを終えました。

同じ日に他の組では、プールや水鉄砲などで水遊びを行いました。プールにぷかぷかと体を浮かせたり、お互いに水を掛け合ったりと、夏の暑さにも負けずに元気いっぱいに遊んでいました。



大学生が町の子どもたちと一緒に化学実験 福島大学サイエンスカフェ

福島大学食農学類の学生が中心となり、県内の子どもたちに化学の楽しさを伝える「サイエンスカフェ」が、8月8日と9日に行われました。

夏休み期間中の今回は、放課後児童クラブの子どもたちが参加し、植物から色を取り出す実験や、それを使ったせっけん作りに挑戦しました。子どもたちは講師の先生や大学生に教わりながら、化学反応の様子に夢中になっていました。



（写真提供：西会津高校）

中学生が高校の授業と部活動を体験

西会津高校で体験入学を開催

7月29日、西会津高校で体験入学会が行われ、町内外から25人の中学生が参加しました。

全体会では、生徒会長の今井さんと2年生の小柴さんが西高の良さや魅力について楽しく話してくれました。数学の授業体験と部活動体験では、会場に入ることができなかった引率者のために、町から貸与されているタブレット端末を活用し、別教室で中学生の様子をリモートで参観してもらいました。



埼玉県戸田市の中学生とも交流

中高生が異国文化を体験

国際社会に対応するコミュニケーション能力と豊かな人間性を育むための英語教育・異国文化体験事業が天栄村の英語研修施設「ブリティッシュヒルズ」で行われ、町内内在住の中高生22人が参加しました。令和元年度より始まった本事業は、8月4日から1泊2日の日程で行われました。

今回は、埼玉県戸田市の中学生16人も参加し、交流を兼ねて体験事業を実施しました。異国の雰囲気漂う施設内では、施設の見学やレッスンなどで全て英語を使用して過ごすようになっています。参加した生徒の皆さんは、グループごとに英語の読み書きなどを学ぶレッスンやカナダの先住民に伝わる装飾品を手作りするレッスンなどを通して、楽しみながら英語や異国文化を学び、貴重な経験になりました。

会津出身の文化人が残した民俗資料を多く展示

古川利意記念美術館「農とくらし」がオープン！

奥川・真ヶ沢にある築150年の蔵を改修し、会津坂下町出身で教員や郷土史家として活躍した故古川利意さんの作品約400点を収蔵した小さな美術館「農とくらし」が7月18日に開館しました。

当日は、美術館の立ち上げに携わった関係者や地元住民など多くの皆さんが駆け付け、開館を祝うセレモニーが行われました。古川さんと生前から親交があり、今回の発起人で蔵の所有者の小野木麗子さんは「色々な人の力を借りて開館できた。古川さんの作品を多くの皆さんに見てほしい」と話していました。

◆古川利意記念美術館「農とくらし」開館情報

【日時】土日祝日 午前10時～午後5時

【場所】奥川大字飯里字里道2246番地

【観覧料金】無料（管理運営にかかる協力金あり）

※豪雪地帯のため冬期間は閉館します。

〈問い合わせ先〉

☎080-6019-0384（小野木）





西中図書館 新刊オススメ本



『喜怒哀楽のお経を読む』
[釈徹宗 著]
朝日新聞出版

僧侶で宗教学者の著者は、現代人の抱える「恐れ」「怒り」「笑い」「悲哀」「老・病・死」について、本書の中でお経や仏教の考え方を問いかけと答えて優しく分かりやすい言葉で展開し、読み解いています。

『恐怖経』や『日本霊異記』、『薔薇の名前』そして『歎異抄』などからの言葉をひもとき、そこから気付かされる仏教の知恵は、現代の問題と結びついて考えるととても身近で、今を生きる私たちに心の苦しみから一歩を踏み出す指針を示しているようです。ぜひ一度、手に取ってみてください。



『みずほ、迷走の20年』
[河浪 武史 著]
日経 BP 日本経済新聞

『体の不調がスーッと消える「天気痛さん」の本』
[佐藤 純 監修]
扶桑社



『競争の番人』
[新川 帆立 著]
講談社



『両手にトカレフ』
[ブレイディみかこ 著]
ポプラ社

町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・薄定雄さん（井谷）の作品です。

📷 作品名 『冬の越戸』



📷 作品紹介

以前、奥川地区の大舟沢集落に出掛けたこの日は、夜に降っていた雪も止み、時折、太陽が顔を出すようになっていました。その帰り道、今は住む人もなく、雪に埋もれてひっそりとたたずむ越戸の民家に太陽の光が差し込み、その存在を訴えるかのような輝きを放っていました。それに応えるように三脚を据え、じっくりと撮った会心の1枚です。

越戸を通ることはめったにありませんが、今でも「大舟沢」「越戸」といえば、冬のこの風景が目に浮かびます。

畳に描かれた絵画に見入っている来場者の皆さん



7月16日から18日の3日間にかけて、33回目となる町民美術展を野沢体育館で開催しました。3年ぶりの開催となった今回は、絵画や写真をはじめ、陶芸、書道、手芸など170点の作品が展示され、多くの来場者を楽しませました。

展示された作品の多くは、町内のサークルや公民館の生涯学習講座などに参加した皆さんが作成したものです。会場には、この美術展への出展を目標として創作活動に取り組み完成した力作がズラリと並びました。

また、町内企業の社内プロジェクトで、廃材となった畳をキャンバスにしてアクリル絵の具で描いた花嫁の絵なども展示され、さまざまな作品が多く来場者を魅了していました。



3年ぶりの開催、力作がズラリ！ 第33回町民美術展を開催



◆町議会定例会
生放送 午前10時～
再放送 午後6時～
※放送時間変更になる場合があります。

◆いくぞ！NA青年部Daily
西会津町商工会青年部を紹介します。

〈問い合わせ先〉
(二社)西会津ケーブルネット
☎45-4461

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
9月の放送案内

お知らせ INFORMATION

人的被害が発生
クマに注意！

町では、7月にクマに襲われてけがをする事案が発生しました。また、クマの目撃情報も多く寄せられており、人家近くにクマの出没が確認されています。

クマに遭遇しないために、音の出る物を身に付け、人間の存在をクマに知らせるようになしましょう。また、フンなど新しいクマの痕跡を見つけた場合は、引き返す勇氣を持ちましょう。

もしクマに遭遇してしまった場合は、背中を見せずにゆっくりとあとずさりして距離を取り、立木のカゲなどにかくれてクマの視界から外れてから逃げましょう。

また、山林では複数人で行動するよう心掛けましょう。

〈問い合わせ先〉
農林振興課 林政係
☎45-4531



西会津町給食センター デジタル見学ツアー③

町学校給食センターでは、西会津小学校と西会津中学校の給食(340人分)を、調理員8人・栄養士1人で心を込めて作っています。今回は、子どもたちが考えたメニュー「歯を強くする肉巻き」の調理動画を作成しました。下記QRコードから視聴できます。



“オレンジカフェいいで愛” in 野沢 開催のお知らせ

オレンジカフェいいで愛は、介護やもの忘れに関する悩みの相談、情報交換など、カフェでの交流を通して、もの忘れとの付き合い方や仲間と出会える場です。

【日時】 9月26日(月) 午前10時～

【会場】 にぎわい番所ぷらっと

【参加費】 無料(飲み物・菓子付き)

【申込み】 参加希望の場合は事前予約が必要です。前日までに地域包括支援センターに連絡ください。また、送迎が必要な場合も気軽に相談ください。



〈申込み・問い合わせ先〉

にしあいづ地域包括支援センター ☎45-3327

福祉介護課 介護係 ☎45-2214

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm

◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

町の福祉と介護の在り方を考える

福祉・介護の「これから」未来プロジェクト

町では、町内の福祉施設の老朽化や人口の減少、高齢化、世帯構成の変化などを踏まえ、これからの町の福祉と介護の在り方を考えていくことを目的とした『福祉・介護の「これから」未来プロジェクトチーム』を立ち上げました。

8月5日には、第1回の会議が開催され、町内の福祉施設などに勤務する10人の参加者と鎌田實先生が所長を務める地域包括ケア研究所の皆さんがワークショップを行いました。今後は、さまざまなスキルの習得や実践を通じ、福祉施設の改修や福祉・介護サービスの新たな在り方を示す「医療・介護連携推進基本構想」の策定に向けて取り組んでいく予定です。



▲ユニークなワークショップで交流しました

ボート競技で県大会優勝！

西中1年・眞部さん ボート競技で全国大会に出場

7月15日、西会津中1年の眞部碧葉^{あおば}さんが町役場を訪れ、ボート競技・女子シングルスカルでの県大会優勝と全国大会出場を大竹享副町長と江添信城教育長に報告しました。眞部さんには、副町長から激励金が手渡され、江添教育長が「体調管理に気をつけて、結果を残せるように頑張ってください」とエールを贈りました。

眞部さんが出場する「全日本中学選手権競漕大会」は、7月21日～24日に宮城県で開催されました。



町における人権啓発活動に取り組む

人権擁護委員に長谷川成博さんを再任

任期満了に伴い、長谷川成博さん(梨平)が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました(再任)。

人権擁護委員は、市町村長の推薦で法務大臣より委嘱され、町民の皆さんの相談に応じながら、基本的人権の侵害などの被害を調査し、被害者の救済を図るほか、地域での人権啓発活動などに取り組みます。なお、長谷川さんの任期は令和4年7月1日から3年となります。



は せ がわ しげひろ
長谷川 成博 さん
(梨平)



秋の農作業事故に
注意しましょう

コンバインなどで農作業を行う際は、事故に十分注意してください。事故は農作業機械を使用する際の不注意や、操作の誤りが原因で発生しています。

ゆとりある計画的な作業を心掛け、事故防止に努めましょう。

◆時間や気持ちに余裕を持ち
次の点に注意しましょう

○安全確認を行い、誤操作を起こさないよう注意を払い作業する

○機械の点検は必ずエンジンを停止してから行う

○道路を走行する際は安全な速度で移動する

○ほ場への進入、脱出時、畦越え時は特に注意する

○一人での作業は避け、複数人で作業する

〈問い合わせ先〉
農林振興課
農政係
☎ 45—4531

地球温暖化防止活動に参加しませんか

県では、地球温暖化防止活動に関心のある人を対象として、推進員の養成研修会を開催します。詳しくは、県環境共生課のホームページを確認ください。

〈申込・問い合わせ先〉
県地球温暖化防止活動推進センター
☎ 024—944—0083

◆日時
9月27日（火）
①午前10時～11時45分
内容：インボイス制度の概要を知りたい人向け
②午後1時30分～3時30分
内容：消費税の基本的な仕組みからインボイス制度の概要まで知りたい人向け

◆会場
喜多方税務署 2階会議室

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

米のモニタリング
検査に伴う出荷・
販売自粛のお願い

本年度も、米のモニタリング検査を実施します。検査は、旧市町村ごとに実施しますので、結果が判明するまでは米の出荷・販売・無償譲渡などを控えるようお願いいたします。なお、検査結果は県ホームページのほか、ケーブルテレビでも随時更新します。

〈問い合わせ先〉
農林振興課 農政係
☎ 45—4531

事業者向け
「インボイス制度」
説明会・相談会

喜多方税務署では、令和5年10月から導入されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）について理解を深めてもらうために、次の日程で「インボイス制度説明会」を開催します。また、説明会の終了後、登録申請希望者を対象に、登録申請手続きのサポートを実施する「登録申請相談会」を同時開催しますので、ぜひ参加ください。

◆日時
9月27日（火）
①午前10時～11時45分
内容：インボイス制度の概要を知りたい人向け
②午後1時30分～3時30分
内容：消費税の基本的な仕組みからインボイス制度の概要まで知りたい人向け

◆会場
喜多方税務署 2階会議室

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

9月1日から
「子宮頸がん施設検診」
が始まります

子宮頸がん施設検診を9月1日から開始します。検診申込者は忘れずに受診してください。

実施医療機関は右表のとおりです。まだ申し込んでいない人で、これから受診を希望する場合は下記まで問い合わせください。

健康増進課
健康支援係 ☎ 45—4532

健康増進課
健康支援係 ☎ 45—4532

健康増進課
健康支援係 ☎ 45—4532

健康増進課
健康支援係 ☎ 45—4532

健康増進課
健康支援係 ☎ 45—4532

市町村	医療機関	電話予約連絡先
会津若松	おのぎレディースクリニック	☎ 0242—36—5051
	竹田総合病院 ※予約が必要です	☎ // —27—5511
	あみウイメンズクリニック	☎ // —37—1456
	なるせとみレディースクリニック	☎ // —37—7851
喜多方	会津中央病院	☎ // —25—1525
	山田産婦人科医院	☎ 0241—22—3032
会津坂下	ゆうゆうクリニック	☎ // —22—2111
	坂下厚生総合病院	☎ 0242—83—3511

※実施期間は9月1日（木）～12月23日（金）までです。

※受診の際は、健康保険証と健康づくり協力員より配付されている受診券を持参してください。

※子宮体がんの検診対象になった場合、その検査料は自己負担になります。

9月10日～16日は
『自殺予防週間』

9月は夏休みなどの長期休業が明け、自殺者が増える傾向にあります。「自殺予防週間」は、自殺や精神疾患について正しい知識を知り、これらに対する偏見をなくしていくことともに、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気付いたときの対応方法などについても理解を深めてもらう期間です。

◆身近に取り組む自殺予防
○ひとりで我慢しない
○誰かに相談する
○身近な人の悩みに気付き、声を掛けてみる

◆電話での相談
こころの健康相談ダイヤル
0570—064—556
平日のみ・午前9時～午後5時、午後6時～10時

◆LINEでの相談
こころつながり@福島
▲上記QRコードを読み取ってください。

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

◆その他
説明会などへの参加は事前予約制です。参加希望の場合は、9月22日（木）午後5時までに左記まで連絡ください。

〈問い合わせ先〉
喜多方税務署
☎ 0241—24—5050

◆会場
町公民館 ほか

◆申込期限
9月16日（金）まで

〈申込・問い合わせ先〉
福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

自分のために家族のために 受けよう！がん検診

昔は不治の病といわれていた「がん」。最近では、医療技術の進歩により、治る確率が高くなってきています。自分の健康を守るためには、定期的ながん検診が大切です。今月号では、町で実施している「がん検診」について紹介します。



健康増進課 健康支援係
さいとう みか
齋藤 美香 保健師長



健康増進課 健康支援係
いしかわ こうや
石川 皓也 副主査

町で行っている「がん検診」にはどんな種類がありますか？

町では、胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がんの5つのがん検診を行っており、**それぞれ無料で受けることができます。これらのがんは早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明**されています。

各がん検診の対象者を教えてください。

検診の名称	対象者
胃がん、大腸がん	40 歳以上の男女
肺がん	40 歳～ 64 歳の男女
子宮頸がん検診	20 歳以上の女性で、前年度町の子宮頸がん検診を受けていない人（2年に1回）
乳がん検診	40 歳以上の女性で、前年度町の乳がん検診を受けていない人または町の受診助成事業を受けていない人（2年に1回）

各がん検診の対象者は右表のとおりです。申し込んでいる人で検査を希望される場合は、町役場健康増進課まで気軽に問い合わせください。

なぜ胃や大腸、肺がん検診は毎年受ける必要があるのでしょうか？

肺がん検診や胃がん・大腸がん検診は、がんの成長が早いいため毎年受診する必要があります。また、肺がん検診でたんの検査（^{かく}喀たん細胞診）の対象となった人は、レントゲンで分かる肺がんや喀たん細胞診で分かる肺がんはタイプが異なるので、ぜひ受けていただきたいと思います。

すごいな！むし歯のない子



はる 武藤 遙ちゃん
（上野尻）



りお 八島 凜桜ちゃん
（1町内）

7月21日、3歳児5人を対象に健康診査を行った結果、2人にむし歯がありませんでした。

日本人の死因第1位は「がん」であり、令和2年の町の統計では死因第4位となっています。定期的に検診を受け、早期に異常を発見して治療を行うことで、体への負担を軽減し、根治の期待も高まります。「異常あり」や「要精検」となった場合は怖がらず、自分のため、家族のためにも必ず精密検査を受けましょう。



集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりでは、LINEを活用した人足イベントの募集と軽沢・程窪集落の訪問についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋 隊員

LINEを活用した人足イベントの募集

奥川地区では、これまで人足作業の支援として、町外の人を受け入れた活動を行ってきました。しかし、どのように募集案内を行うのかなどといった、参加者を受け入れる仕組みが確立されていませんでした。そこで、今夏の人足では、人足の参加者を募集する方法として新たにLINEの活用を試みています。

まず、受け入れてくれる集落に作業場所や作業時間、受け入れできる人数などの聞き取りをしました。その内容を基に参加申し込みフォームを



LINE画面の一例

作成し、LINEで大学生などに周知しました。

今回の人足の参加者からは、試験的での実施とはいえ、LINEは参加申し込みがしやすく、人足の体験も初めてであったため、普段の生



活ではできない体験ができたとの声がありました。

この取り組みは、集落の負担を少なくし、ボランティアの受け入れを円滑にするために実施しています。集落が希望する人数が集まるように、これからは本格的な実施に向けて改善を重ねていきたいと考えています。奥川地区に限らず、どのようなものか詳細を知りたい、または、やってみたい集落がありましたら気軽に渡辺まで問い合わせください。



草木が生い茂り、町内各所で草刈りをする姿を見る機会が増えました。蒸し暑い日が続いていますので熱中症には十分に注意してください。

軽沢・程窪集落を訪問

本年度より担当地区が変更となり、野沢・尾野本・群岡地区の高齢化率60%以上の集落を中心に少しずつ訪問しています。約2年前に実施した集落の実態調査を基に、その後の変化や集落維持に向けてそこに暮らす皆さんと一緒に考えていけるよう話を聞いてまわっています。今回は、尾野本地区の軽沢と程窪の両集落の自治体長に現在の集落状況の聞き取りを行いました。

両集落とも、サロンへの参加や隣近所で声を掛け合うなど住民同士が顔を合わせる機会があり、互いに近況を確認し合っている様子でした。しかし、有害鳥獣の被害や集落の共同作業の人手不足問題は深刻化しており、今できていることが5年後10年後でできるかは分からない状況だと話していました。

戸籍の窓口

(7月受付分)

■ まちの人口

	8月1日現在	(前月比)
人 口	5, 7 5 3 人	(- 1 3 人)
男	2, 7 9 7 人	(- 7 人)
女	2, 9 5 6 人	(- 6 人)
世 帯	2, 5 3 9 世帯	(+ 2 世帯)

■ お誕生おめでとう

高津 いおちゃん 京也・那央 上野尻

荒海 なつめちゃん 正人・怜美 小綱木

■ お悔やみ申し上げます

甲斐 苺一 (86)	美智子 夫	4町内
恩田 鬼子郎 (88)	圭基 父	芝草
平井 清美 (91)	克美 父	芝草
齋藤 茂 (69)	幸樹 父	堀越
須藤 桂子 (75)	雅克 母	萱本
渡部 マサ子 (94)	峰明 大祖母	萱本
渡部 テツ (101)	元基 祖母	松尾
野原 カトミ (100)	静雄 母	松尾
渡部 ツネ子 (78)	寅雄 母	黒沢
鈴木 シン (99)	淑子 母	山口
佐藤 泰 (70)	恵子 夫	上野尻
桑原 キミ子 (80)	和弥 母	徳沢
上野 新平 (85)	新哉 父	呼賀
佐藤 エイ子 (86)	信英 母	滑沢
物江 善美 (93)	一榮 大祖父	八重窪
猪俣 泰明 (92)	泰典 父	小山

Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・生徒会 総務]

やべらいと
矢部 光人 さん

◆私の夢――

僕は将来、薬剤師になりたいと思っています。幼い頃に通っていた病院の薬剤師の方がとてもかっこよく、テキパキと働く姿が印象的だったことから、薬剤師を目指すようになりました。

◆努力していること――

薬剤師を目指すにあたって心掛けていることは、思いやりの心です。薬剤師は、一人一人の患者と接するので、思いやりはとても大切だと思っています。

◆未来の自分に一言――

今後生きていく上で辛い時がくると思いますが、そんな時でも諦めずに、前を向いて頑張っていってほしいと思います。

Person

町民バトンタッチ

さとう
佐藤 まゆみ さん [上野尻]

◆趣味は？

食べ歩き、お菓子作り

◆特技は？

人見知りをしないこと

◆熱中していることは？

ガーデニング

◆自分を一言で表現すると？

ポジティブ

◆あなたのモットーは？

雲の上はいつも晴れ

◆最近感動したことは？

いつも枯らしてしまっていたウツボカズラ（食虫植物）に、初めて新しいつぼが付いたこと

◆これからやってみたいことは？

名城巡り

◆次の方を紹介してください

M・Tさん



とっておきの物は？

3人の孫たち。寝返りができるようになったり、文字が読めるようになったりと、それぞれの成長が嬉しいです。



石本 明美 さん(8月号)
からメッセージ

まゆみちゃん手作りのローストビーフ、また食べたいな!!



Column

協力隊リレーコラム

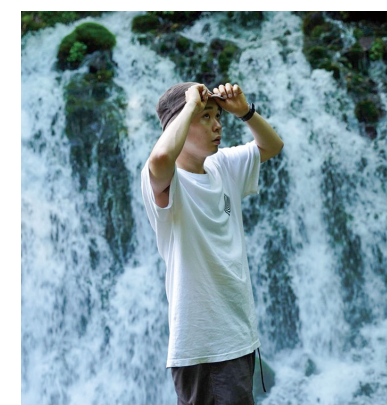
らせん状のものづくり

町に移住して1年と少し経ちました。協力隊として、ひとりの人間として、この1年間、さまざまな経験ができたと思っています。

一例として町の健康増進計画のキーワード「さすけねえ輪」をテーマとしたロゴマークのデザインを担当させていただきました。ひらがなの「わ」をモチーフにデザインしたそのロゴは「健康おもしろ座談会」のメンバーの皆さんにヒアリングしながら協奏して作り上げてきました。

その様はらせん状にアイデアが組み上がっていくように出来上がったマークもどこか「らせん状の上昇」を表現しているようにも見えてきます。

1つのアイデアが関わる人の想いを乗せ、最初に考えていたものとは良い意味で全く違うものに生まれ変わっていく。このプロセスは、僕がこれから番組制作・デザイン業務に携わる上でも大切にしたいかなければならないことだと考えています。



つづく たいが
都竹 泰河 隊員

協力隊2年目の24歳。ケーブルテレビの番組制作と情報発信業務を担当。趣味はストリートダンスで、町内で踊れる場所を模索している。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選

その65

文：長谷沼 清吉

どろぶ 泥浮の開村

漆窪の泥浮地区は、アメリカのペリーが浦賀に来航した嘉永6年（1853）、平明村の徳右衛門が30町歩を譲り受け、家族とともに開拓の鋤を入れたのが始まりとされています。

「泥浮」の地名は、隣村の立岩へ行く道のそばに浮島のふかふかした湿地があったからといわれています。平明との行き来は新村堤と松坂を通っての道で、泥浮との往来ができるようになるのは戦後のことになります。

徳右衛門は気性の激しい人といわれ、開拓に精魂を傾け、その功績に「会津」の名字の使用を願い出ましたが、「会津とは畏れ多きこと、会沢を許す」との逸話が残っています。

泥浮の南で東と西の沢が合流して井谷川となるので、会沢の名字になったのかもしれませんが。実家の薄を名乗らなかったのは、名実ともに独立して新天地を拓く決意のあらわれがあったのではないのでしょうか。その後、徳右衛門は文久3年（1863）年に亡くなります。法名「開翁理發清信士」。

戊辰戦争の農兵組立によると、『高郷村史』には泥浮分肝煎会沢次右衛門、『山都町史』では会沢四左衛門とあり、徳右衛門の子と思われます。慶応4年（1868）、柴崎に上陸した西軍の一隊は井谷と赤岩・中山で戦い、一部は井谷から泥浮に進み、道案内を立てて富士山に登り、攻撃しています。

明治2年（1869）、新潟県白根村の平治は、泥浮にある岩穴でにせがね贗金を作り、処刑されています。泥浮と立岩を結ぶ道の脇に腹切り松がありましたが、虫食いで倒れてしまいました。平治が腹を切ったからだといわれています。しかし、罪人は斬首なので首切り松というべきですが、自ら腹を召したからでしょうか。



今月の表紙

今月は、こゆりこども園のスイカ割りより。熱中症対策のため、日差しの少ない曇り空の下、屋外でのスイカ割り。園児たちの元気いっぴいで楽しそうな声が園庭に響き渡っていました。

（7ページに関連記事）

編集後記

この度の豪雨により被害に遭われた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

近年、全国各地でこのような豪雨災害が多発しています。このような自然災害がいつ発生しても対処できるように、日頃からしっかりと防災意識を持ち、対策を考えておくことが必要です。

町では、「西会津防災マップ」を作成しています。町ホームページでご覧いただけるほか、町民税課窓口でも配布しています。この機会に災害への対応や備えについて考えてみませんか。（秦）